

リニアな循環から脱し、
残存価値の活用へ

新トリレンマ???



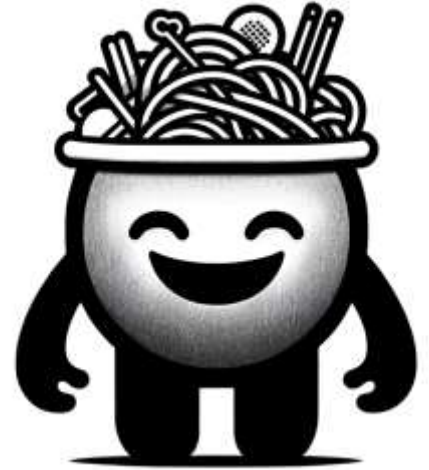
新たな循環エネルギー消費



リサイクル社会



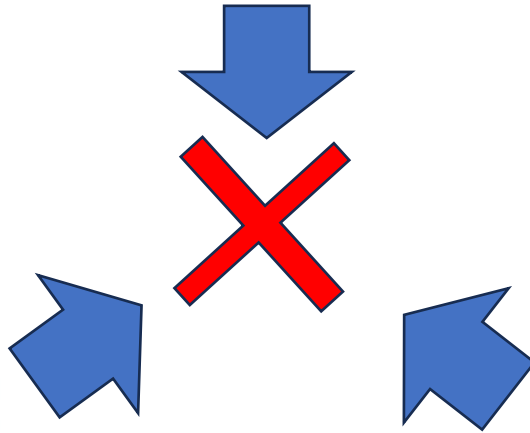
経済活性



隠れた物質フロー



カーボンニュートラル

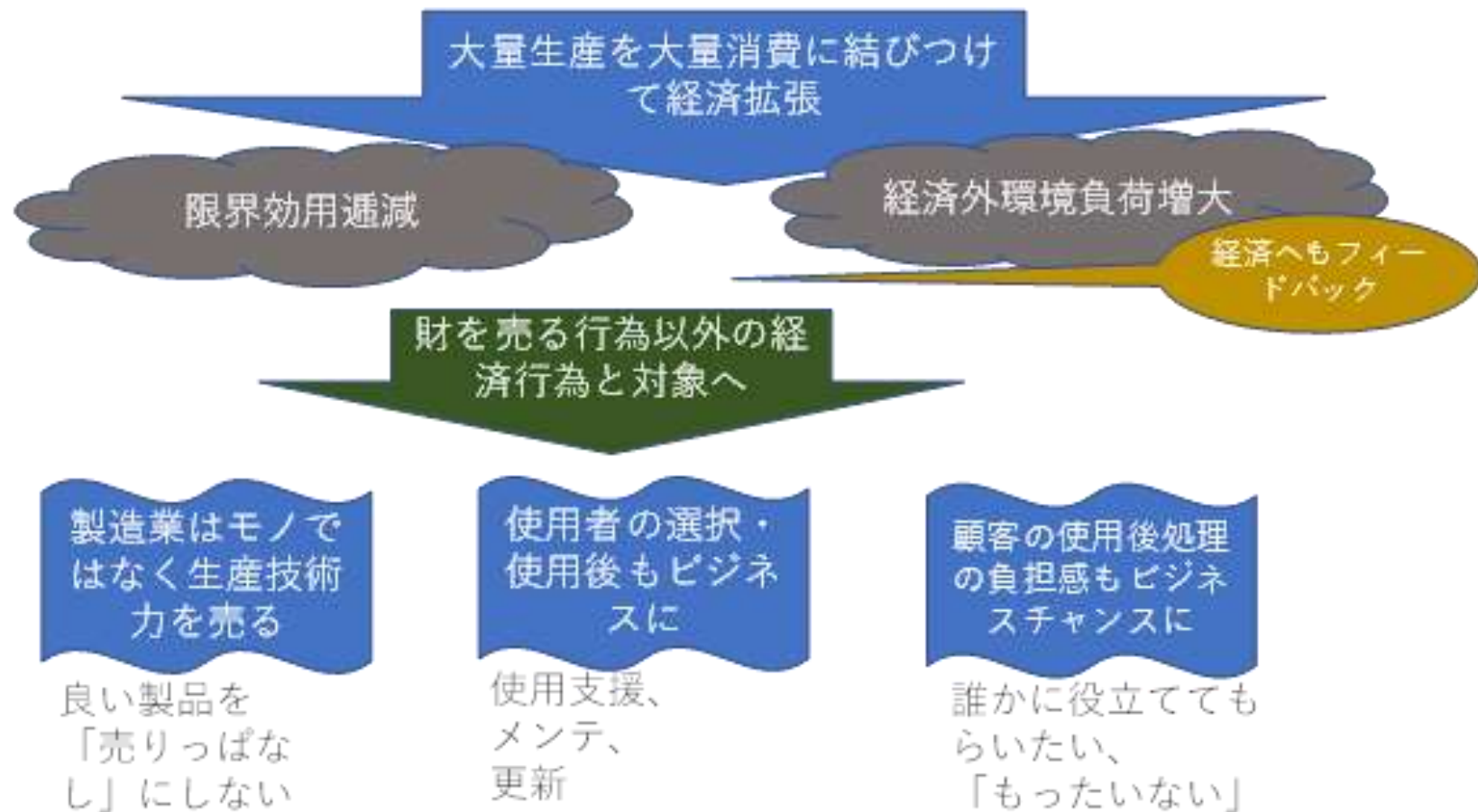


それに応えるのが

ほんとうの サーキュラー・エコノミー



サーキュラーエコノミーは何故出てきたか



• 入口は循環にあるが、出口はもっと広い

「循環しなければならない」からするのではなく、
「循環」の視点から従来のリニアな経済で気づかなかったビジネスを!

大目標 持続可能な社会

←目指す状態

脱大量消費経済

←そのための構築目標

大量消費経済の
一側面としての
「廃棄物問題」

サーキュラー・エコノミー

←実現すべき形態

手段→

その解決策としての
循環型社会 at JPN

サービサイジング、
循環、長寿命 など

←手段

プラットフォーム、デジタルトランジション ←手立て

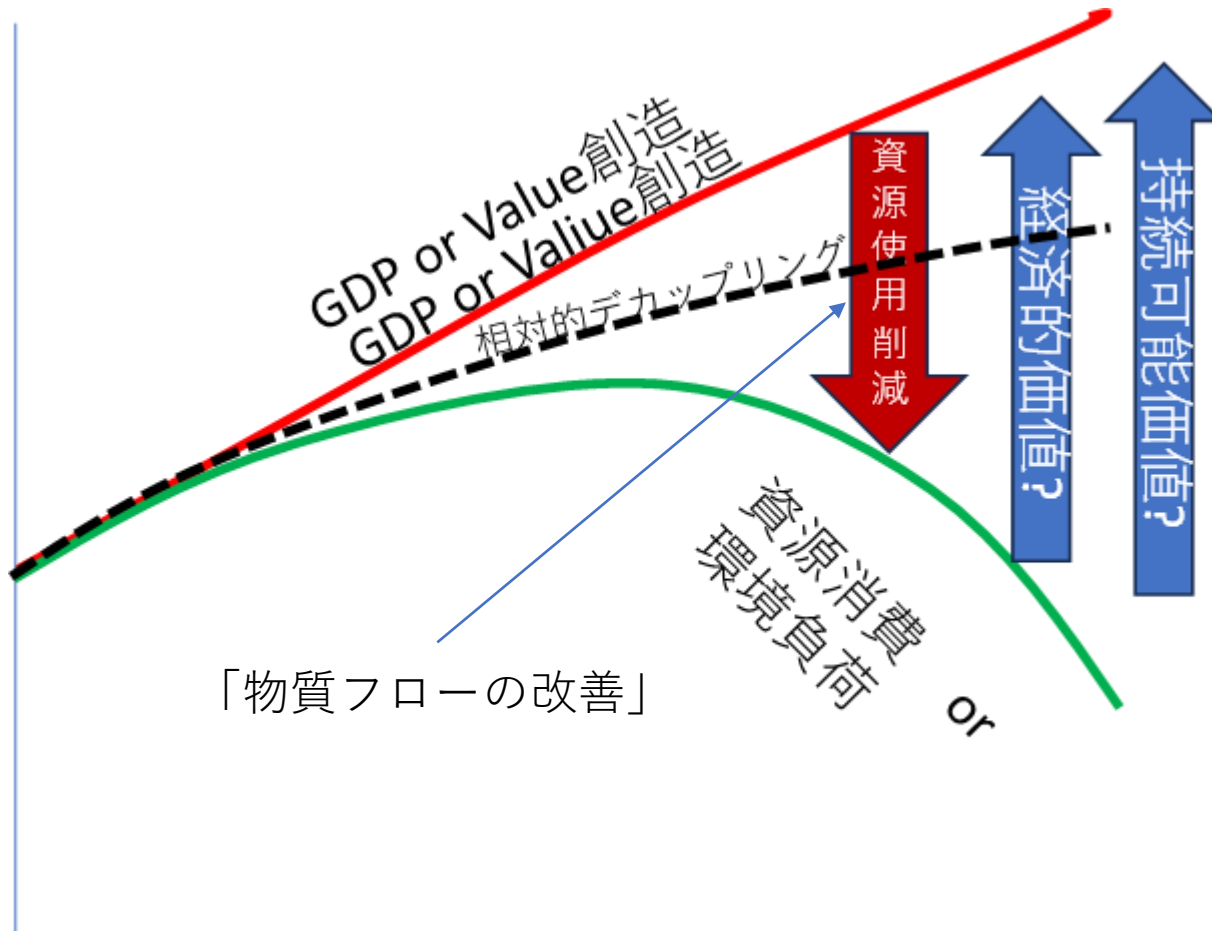
circular economyは **デカップリング経済**

物質フローの改善、だけでなく 資源効率の向上を

資源効率 =

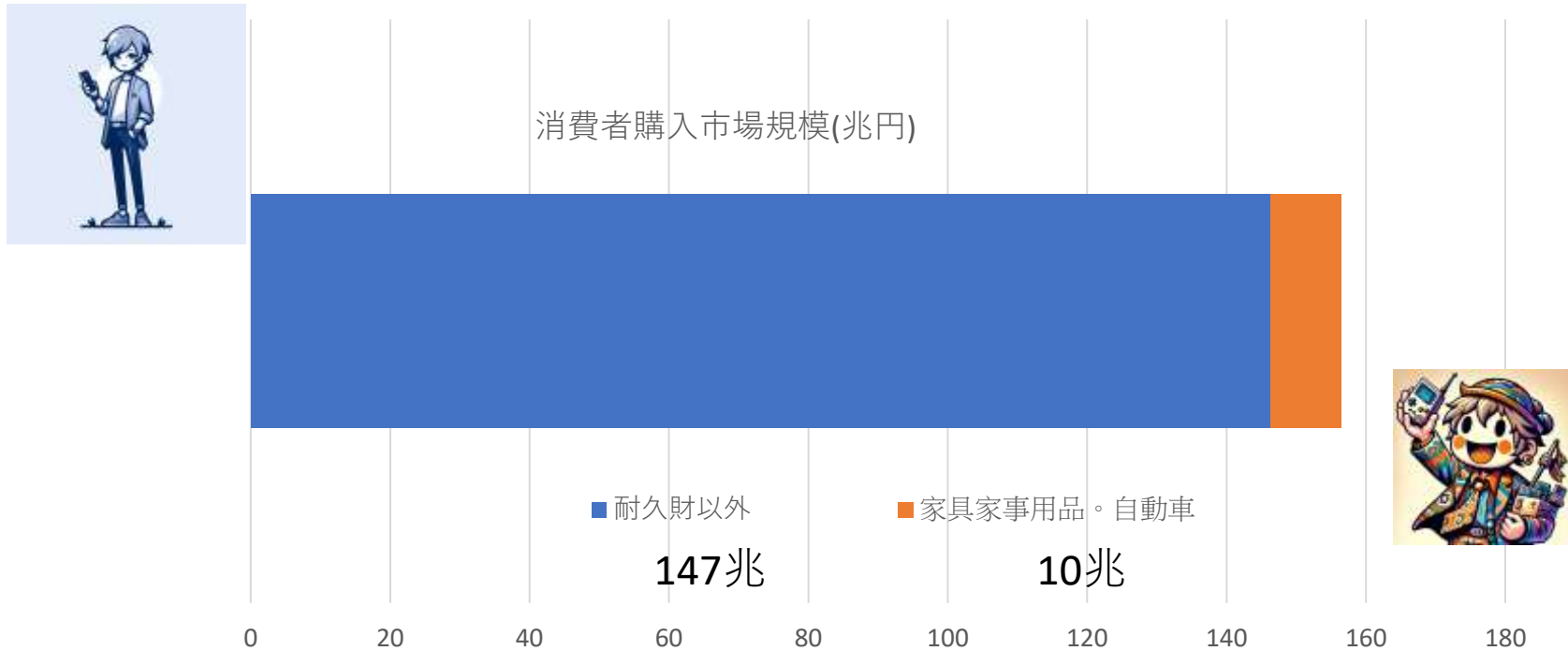
(製品・システムの利便性)

(物質フロー)



無意識にかつ従来ビジネスの頭でも、物売り経済からの脱却は始まっている。

2022年日本の消費者購入市場における耐久財・自動車の割合



- 統計局家計調査(世帯数は社会保険人口問題研究所)をもとに作成
- ちなみに 住まい(除く借り料)5.4兆、被服4.9兆

リニアな経済



社会の経済行為

←-----経済外の個人行為----->

マスプロのための汎用化

購買の壁

なげやり経済

サーキュラーな経済



包みこみ寄添い経済

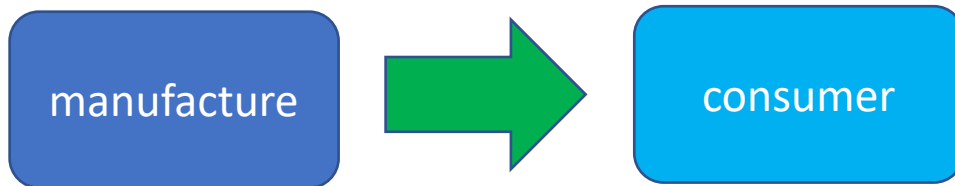
新たなユーザーベースの産業活性のためのカスタマイズ経済

多様な個のカスタマイズに応える新ビジネス領域

エコデザイン2009→2022の本質

- 製造者責任からの脱却

EcoDesign2009



上市および使用開始時

EcoDesign2022



バリューチェーンサービス

欧州議会調査局のエコデザイン指令の実施評価の政策提言「 (...) エコデザインプロセスにおいて、製品だけでなく、その機能に必要なシステム全体を考慮することは、資源効率に向けたもう一つの重要な成功である」

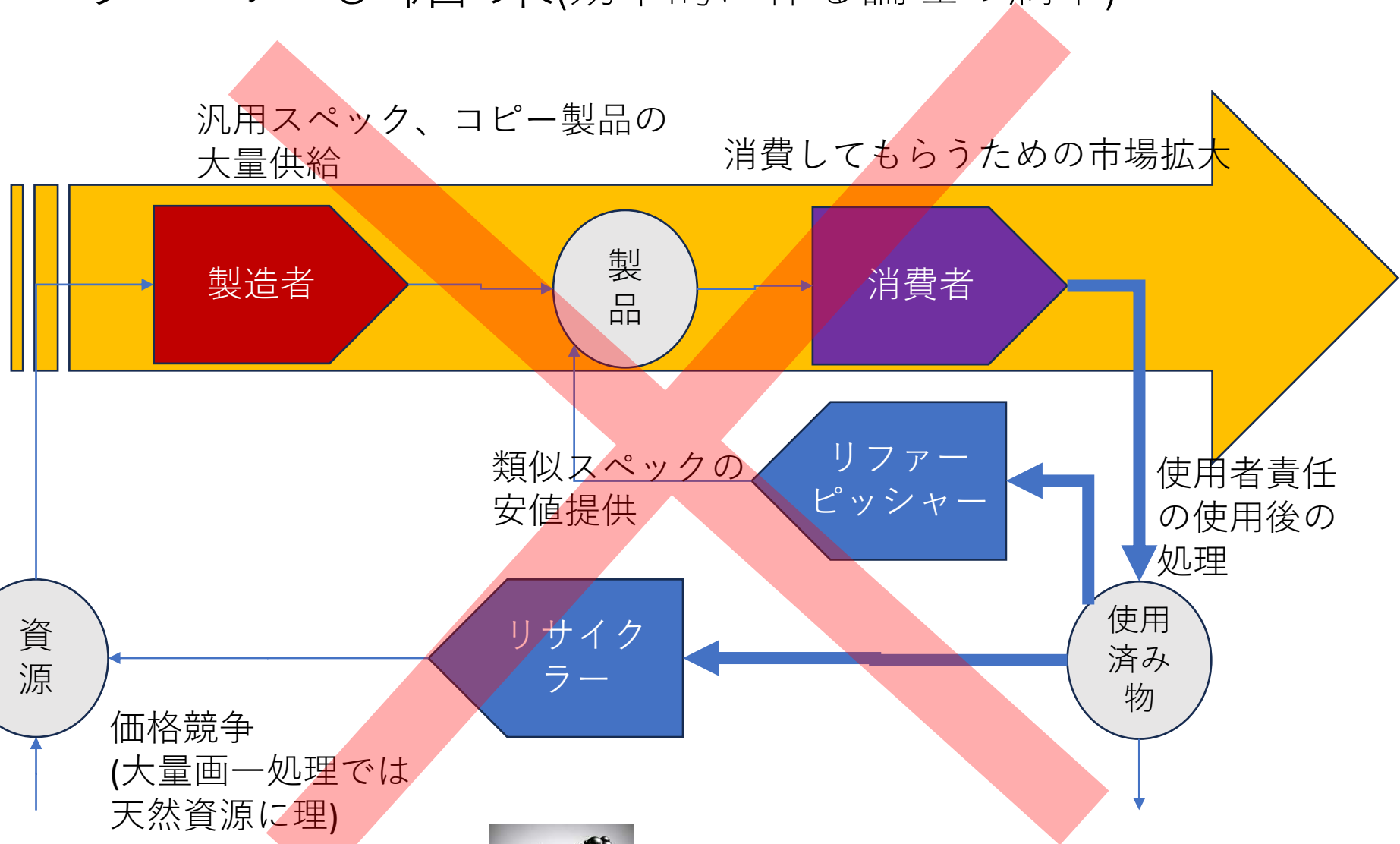


サーキュラーエコノミーとは、**生産と消費のモデル**であり、既存の材料や製品をできるだけ長く共有、リース、再利用、修理、改修、リサイクルすることである。このようにして、**製品のライフサイクルが延長**される。

実際には、廃棄物を最小限に抑えることを意味する。製品の寿命が尽きても、リサイクルにより、その材料は可能な限り経済的な範囲にとどめられる。これらは生産的に繰り返し使用することができ、それによってさらなる**価値が生み出される**。

これは、従来の**直線的な経済モデルとは一線を画す**ものである。その従来モデルは、**安価で容易に入手できる大量の材料とエネルギーに依存している**。

リニアな循環(効率的に作る論理の渦中)



物質フローは改善するかもしれないが、ロジスティック増大などでCO2も増

CEの必要条件

大量生産・消費を支えてきた
物質基盤とシステムに対置

循環型社会

+

カーボン
ニュートラル
経済

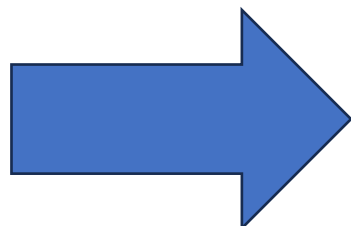
=

サーキュラー
エコノミー



新たなバーズンを必要とするリサイクルは、
非サーキュラー・エコノミー型リサイクル

大量の資源・化石燃料
経済からの脱却



大量消費にかわる
ライフスタイルへ
生産・循環・消費
の転換



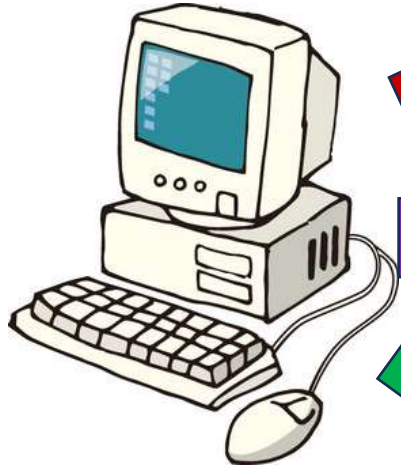
これからのリファーマービッシュ業はカスタマイズ産業

性能が出ていることを試験

リニアな
リファーマービッシュ

新品と同様に使えて
安く手に入る

大量生産・
安売り競争の延長
新品との競合



リファーマービッシュ



中古を安く売るの
ではなく、中古で
できるサービスを考える

CE時代の
リファーマービッシュ

貴方が欲しかった機能が
フルスペック品を購入し
なく手に入る

使用者の痒いところ
に手を届ける業

性能が出る機能、出ない機能の見極め
使用者の用途にあった斡旋、改修
(モニタリング管理、AI機器入出力)
情報技術の活用

カスタマイズ可能
な新規製品とも協働

コミュニケーション価値

行動価値(情報価値)

利用価値

機能価値

機構価値

素材価値

資源価値

共同空間経済

IoE

ICT



Co-use

repair

Service share

???

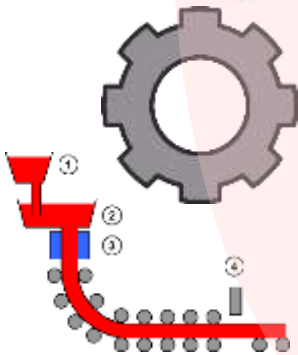
Product Reuse



Parts Re-manufacturing

Elements Reuse/refurbish

Substance-recycle



残存価値

(retain-ed/-ing value)
を徹底的に引き出す

個人消費/売切経済

何をやれば「CEを実践している」と言えるか

残存価値(retained/ing value)の発掘と活用

- 自動車リサイクルを例にとると
 - × シュレッダーに掛けて鉄を取り出す ← 資源価値だけ
 - 解体時に高張力鋼板部を取り外し自動車ボディに利用 ← 品質価値の取り出し
- プラスチック循環を例にとると
 - × リサイクルしてできるプラスチックで何でも良いから作る ← 廃棄物の減量化
 - 必要なモノをつくるために循環プラを活用する ← 必要な価値への適用
- 「都市鉱山メダル」を例にとると
 - × オリンピックのメダルをリサイクルで作った ← 資源価値だけ
 - みんなの思いが、オリンピックのメダルになった ← 参加の価値を付加

サーキュラーエコノミー広域 マルチバリュー研究会

- 活動報告につづく